

| | | | |
|--------------|--|--|-------------|
| 科目名 | 保育内容指導法 (環境) | | |
| 担当教員 | 仁藤 喜久子 | | |
| 授業コード | 714-1 | 単位数 | 2 |
| 授業の概要 | <p>幼児期における遊びや生活は日々暮らす場や環境によってその質は異なってくる。保育内容の指導法（環境）では、領域「環境」のねらい及び内容についての理解を深め、幼児の発達に即して、深い学びが実現する過程を踏まえて、領域「環境」にかかわる具体的な指導場面を想定した保育の構想、指導法に身につける。</p> <p>担当者の実務経験を活かした授業を行う。</p> | | |
| スクーリングレポート課題 | 幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領における、領域「環境」のねらいと内容について、これらの違いを説明する。 | | |
| 提出要領 | 様式（縦書きor横書き） | 横書き（原稿用紙を使用）、講義日初日の講義前に提出。 | |
| | 字数 | 400字程度 | |
| ワープロ使用可・不可 | ワープロ不可（手書き） | | |
| 到達目標 | ①保育の基本と環境について理解している。②領域「環境」のねらいと内容を理解している。③幼児教育における環境構成（デザイン）を理解している。④年齢や季節に応じた指導案を作成することができる。 | | |
| 授業計画 | | | |
| 時数 | テーマ | 内容 | 授業を受けるにあたって |
| 1 | 授業概要の説明 | 保育の基本、環境を通して行う教育について理解する。 | 第1章を熟読しておく |
| 2 | 保育の基本と環境 | 幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領における「環境」領域の位置づけについて理解する。 | 第1章を熟読しておく |
| 3 | 領域「環境」とは | 領域「環境」のねらいと内容について理解する。 | 第2章を熟読しておく |
| 4 | 領域「環境」の指導 | 保育者の指導について学ぶ。指導の実践例について学ぶ。 | 第3章を熟読しておく |
| 5 | 領域「環境」の内容 | 自然環境・社会環境・遊びと環境について学ぶ。 | 第4章を熟読しておく |
| 6 | 領域「環境」の内容 | 自然環境・社会環境・遊びと環境について学ぶ。 フィールドワーク | 第4章を熟読しておく |
| 7 | 領域「環境」の保育計画 | 動植物との関わりについて学ぶ。 フィールドワーク | 第5章を熟読しておく |
| 8 | 領域「環境」の保育計画 | 人と植物との関わりについて学ぶ。 フィールドワーク | 第5章を熟読しておく |
| 9 | 領域「環境」の保育計画 | 数量との関わりについて学ぶ。 フィールドワーク | 第5章を熟読しておく |
| 10 | 領域「環境」の保育計画 | 園と地域社会との関わり フィールドワーク | 第5章を熟読しておく |
| 11 | 領域「環境」のデザイン＝環境構成 | 幼児教育における人的環境と物的環境について学ぶ。 | 第6章を熟読しておく |
| 12 | 領域「環境」のデザイン＝環境構成 | 幼児教育における人的環境と物的環境について学ぶ。 | 第6章を熟読しておく |
| 13 | 領域「環境」のデザイン＝領域環境構成 | 指導法の事例発表。 | 第7章を熟読しておく |
| 14 | 領域「環境」の現代的課題 | 幼児教育の現状と課題について学ぶ。 | 第7章を熟読しておく |
| 15 | 試験 | 授業の振り返りとまとめ | 6日間の学びを復習 |
| 使用テキスト | 『保育内容の指導法（環境）』（通信教育課程指定テキスト） | | |
| 受講者が持参する教材 | スケッチブック（A4サイズ1冊）、文具（色鉛筆または色ペン、はさみ、のり、セロテープ） | | |

| | |
|------------------|--|
| 参考文献 | 必要に応じて授業内で紹介する |
| 成績評価方法 | 筆記試験（50%）、課題・授業内の提出物（40%）、受講態度（10%） |
| その他受講者への指示/メッセージ | 事前に「環境の指導法」のテキストを熟読してご参加ください。授業はアクティブ・ラーニングやフィールドワーク等を実施しますので、積極的に参加をしてください。 |